



「5棟に1棟」が 焼失・全壊のおそれ

耐震性が低い建物は、その後の揺れで倒壊する可能性があります。避難する際は火元を確認、必ずブレーカーを落としましょう。



電気は「1週間」 水道は「1か月」 使えない想定を

自宅が無事なら在宅避難を。水や食料は最低3日分備蓄しましょう。携帯トイレやモバイルバッテリーなどがあると安心です。



火災が広がったら 「避難場所」へ

富士見公園・武蔵野公園・あさひ公園、市内10か所の小中学校の校庭が指定されています。



市民の 「4人に1人」は高齢者

1人で避難できずに困っている人がいるかもしれません。近くに住む高齢者や障害者の方に声をかけて一緒に避難しましょう。



避難の際は 車を使わない

大地震直後は道路の損傷や信号機が故障し、交通事故など二次被害の危険が。緊急車両の妨げにもなるので、なるべく徒歩で避難しましょう。

東京都・内閣府被災想定より

あの日の学びで、その日に備える。

関東大震災

1923 ————— 2023

100年



NHKわがまち防災

https://www.nhk.or.jp/shutoken/kantoshinsai/wagamachi_tokyo



羽村市防災情報ページ

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/category/1-10-4-0-0-0-0-0-0-0.html>